

# インターロッキングブロックの品質規格

車道対応の舗装構造及び断面についてはお問い合わせください。

## インターロッキングブロックの品質規格

種 類	項 目	車 道	歩行者系道路
		駐車場 (大型車主体)	駐車場 (乗用車主体)
		歩道の車両乗入れ部 (大型車主体)	歩道の車両乗入れ部 (乗用車主体)
		消防車両乗入れ部	—
普 通	寸法(幅・長さ)	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	厚 さ	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	曲げ強度	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上
透水性	寸法(幅・長さ)	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	厚 さ	-1.0~+4.0mm以内	-1.0~+4.0mm以内
	曲げ強度	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	透水係数	1×10 <sup>-4</sup> m/s以上	1×10 <sup>-4</sup> m/s以上
保水性	寸法(幅・長さ)	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	厚 さ	±2.5mm以内	-1.0~+4.0mm以内
	曲げ強度	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	3.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	保水量	0.15g/cm <sup>3</sup> 以上	0.15g/cm <sup>3</sup> 以上
	吸い上げ率	70%以上	70%以上
植生用ブロック	寸法(幅・長さ)	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	厚 さ	±2.5mm以内	±2.5mm以内
	曲げ強度	4.0N/mm <sup>2</sup> 以上	4.0N/mm <sup>2</sup> 以上

注:すべり抵抗値(BPN値)は、歩行者系道路では40BPN以上、その他は60BPN以上とする。

注:ブロックの形状その他の理由により、曲げ強度試験ができない場合は、コアによる圧縮試験を行う。規格値は、曲げ強度5.0N/mm<sup>2</sup>以上のものは圧縮強度32.0N/mm<sup>2</sup>以上、曲げ強度3.0N/mm<sup>2</sup>以上のものは圧縮強度17.0N/mm<sup>2</sup>以上とする。

※保水性は保水量で規定する。試験方法は保水性試験による。 ※吸水性は吸い上げ高さで規定する。試験方法は吸水性試験による。

$$\text{保水量 (g/cm}^3\text{)} = \frac{\text{湿潤質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}}{\text{供試体の体積 (cm}^3\text{)}}$$

$$\text{吸い上げ高さ (\%)} = \frac{\text{30分後の吸い上げ質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}}{\text{湿潤質量 (g)} - \text{絶乾質量 (g)}} \times 100$$

## 歩行者系道路の舗装構造

インターロッキングブロックの種類とタイプ		インターロッキングブロック層 (cm)			路盤 (cm)	フィルター層 (cm) 注1	合計厚さ (cm)
		インターロッキングブロック	敷 砂	透水シート	クラッシュラン (C30またはRC30)		
普 通	インターロッキングブロック	6	3	—	10	—	19
	平 板	6	3	—	10	—	19
透水性	インターロッキングブロック	6	3	不織布	10	5	24
	平 板	6	3	不織布	10	5	24(26)
保水性	インターロッキングブロック	6	3	—	10	—	19
	平 板	6	3	—	10	—	19

注:路床細粒分の上昇、粒状路盤材の細粒分流出による路床支持力の低下、浸透能力の阻害などが懸念される場合は、

- ・フィルター層もしくは不織布を路床上に設置する。
- ・フィルター層および不織布は路床の浸透性能以上の透水性能を持ち、細粒分の流出防止に効果がある砂や不織布を使用する。

Build Japan ニッポンを創る。

 日本コンクリート株式会社

本社・営業本部 愛知県名古屋市守山区瀬古三丁目1725 TEL:052-793-1151

## 歩道車両乗り入れ部

保水性インターロッキングブロック舗装の構造は、ブロックが有する透水機能の有無によって異なる。

透水係数で $1 \times 10^{-4} \text{m/s}$ 以上が期待できる場合は、透水性インターロッキングブロック舗装の構造に準拠し、期待できない場合には普通インターロッキングブロックの舗装構造に準拠する。

### 歩道車両乗り入れ部の構造例

乗り入れする車種	交通量 (N)	交通量区分	普通インターロッキングブロック (cm)						透水性舗装 (cm)						排水性舗装				必要TA (cm)				
			ブロック層		上層路盤		下層路盤		ブロック層		上層路盤		下層路盤		フィルタ層 (注3)	ブロック層		密粒度アスファルトコンクリート		上層路盤		下層路盤	
			ブロック	敷砂	瀝青安定処理	粒度調整砕石	クラックチャラン	透水性ブロック	敷砂	透水シート	透水性瀝青安定処理	クラックチャラン	割増厚	透水性ブロック		敷砂	透水性			クラックチャラン	透水性	クラックチャラン	
大型車両	N < 15	N1	8	2	—	7	7	8	2	不織布	5(注1)	7	0	不織布	8	2	5	—	7	9			
	15 ≤ N < 40	N2	8	2	—	7	7	8	2	不織布	5(注1)	7	0	不織布	8	2	5	—	7	12			
	40 ≤ N < 100	N3	8	2	5	—	12	8	2	不織布	5(注2)	12	0	不織布	8	2	5	—	10	15			
	100 ≤ N < 250	N4	8	2	8	—	19	8	2	不織布	8(注2)	19	0	不織布	8	2	8	—	12	19			
	250 ≤ N < 1000	N5	8	2	10	15	19	8	2	不織布	15(注2)	24	0	不織布	8	2	10	10	18	26			
乗用車・小型貨物自動車	N < 300	S1	8	2	—	7	7	8	2	不織布	5(注1)	7	0	不織布	8	2	5	—	7	12			
	300 ≤ N < 650	S2	8	2	—	8	10	8	2	不織布	5(注1)	10	0	不織布	8	2	5	—	7	13			
	650 ≤ N < 3000	S3	8	2	5	—	12	8	2	不織布	5(注2)	15	0	不織布	8	2	5	—	10	15			
	N ≥ 3000	S4	8	2	8	—	19	8	2	不織布	8(注2)	19	0	不織布	8	2	8	—	12	19			

注1:大型車交通量が比較的多いため、安定度3.43kN以上、等値換算係数で0.80の混合物とする。

注2:大型車交通量が少ないため、安定度2.45kN以上、等値換算係数で0.55の混合物とする。

注3:路床細粒分の上昇、粒状路盤材の細粒分流出による路床支持力の低下、浸透能力の阻害などが懸念される場合は、フィルタ層もしくは不織布を路床上に設置する。フィルタ層および不織布は路床の浸透性能以上に透水性能を持ち、細粒分の流出防止に効果がある砂や不織布を使用する。フィルタ層の厚さは10cm程度を標準とする。

### 交通量の区分(普通道路)

交通量区分	舗装計画交通量 (単位:台/日・方向)	49kN標準荷重疲労破壊輪数(単位:回)	
		設計期間10年	設計期間20年
N1	15未満	1,500	3,000
N2	15以上 40未満	7,000	14,000
N3	40以上 100未満	30,000	60,000
N4	100以上 250未満	150,000	300,000
N5	250以上1,000未満	1,000,000	2,000,000

### 交通量の区分(小型道路)

交通量区分	舗装計画交通量 (単位:台/日・方向)	17kN標準荷重疲労破壊輪数(単位:回)	
		設計期間10年	設計期間20年
S1	300未満	660,000	1,320,000
S2	300以上 650未満	1,100,000	2,200,000
S3	650以上3,000未満	2,400,000	4,800,000
S4	3,000以上	11,000,000	22,000,000

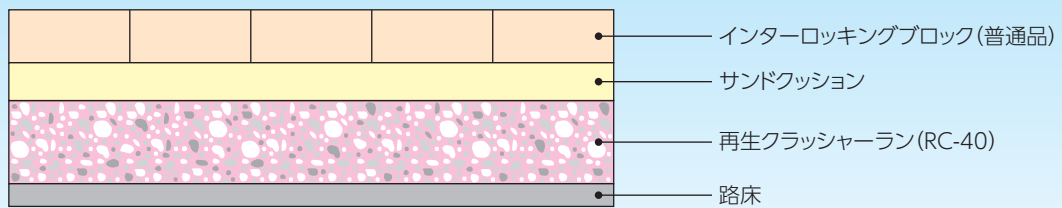
Build Japan ニッポンを創る。

日本コンクリート株式会社

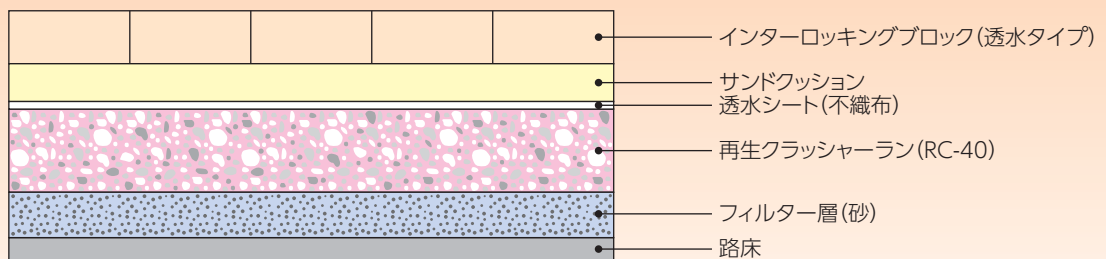
本社・営業本部 愛知県名古屋守山区瀬古三丁目1725 TEL:052-793-1151

## インターロッキングブロック施工断面

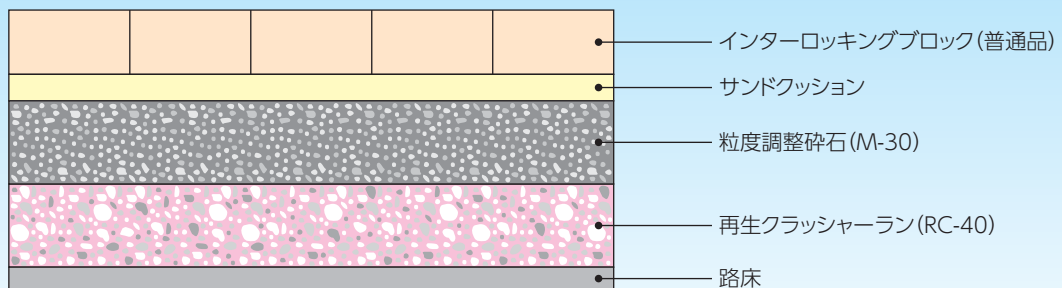
### 【歩道・自転車道】普通品・保水タイプ



### 【歩道・自転車道】透水タイプ

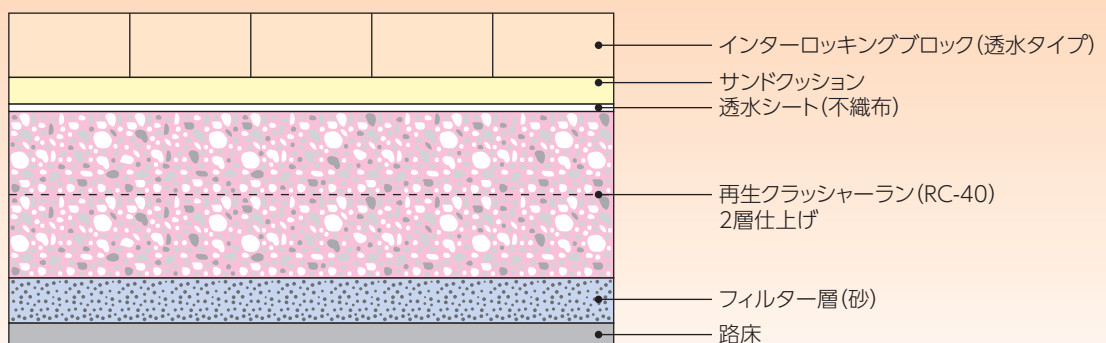


### 【車両乗り入れ部】普通品



乗用車、小型貨物自動車2t程度 車両乗り入れ出入口の幅4m以上。

### 【車両乗り入れ部】透水タイプ



Build Japan ニッポンを創る。

◎ 日本コンクリート株式会社

本社・営業本部 愛知県名古屋市守山区瀬古三丁目1725 TEL:052-793-1151